

インドネシア水道に係る情報収集 No. 190201W

検索サイト	Google	実施日	2019/02/18	実施者	T.Masuoka
検索方法：「Indonesia Water supply」で検索					
URL ; https://reliefweb.int/report/indonesia/indonesia-homes-food-water-still-top-priorities-six-months-after-lombok-earthquakes					
標題：Indonesia: Homes, food, water still top priorities six months after the Lombok earthquakes.					
題名；インドネシア；住宅、食料、水がロンボク地震の半年後でも依然として最優先事項。 内容：2018年8月5日に起きた最悪の地震から半年経過した被災地の状況についての報告。 ロンボク島西部、北部、そして東部の50万人が、小さなシェルターで生活している。 ① インドネシア赤十字の活動紹介； 緊急避難所の資材提供と建設、そして現金の配給など、支援することで、 37,300人（9,325世帯）に及ぶ被災者の安全、警備、衛生状況等を改善した。 また、赤十字は、被災者に多くの有益な情報を与えている。 ②避難所生活をする家族の状況；ロンボクの首都に近いグンチュールマカン村では 半年過ぎても避難所生活が続いている。 赤十字社の避難所は、粗末なため、雨天時には雨漏りし、昼間は暑く不快である。 余震が多いので、安心できない。 以前から借金の返済ができないために、土地さえも失う人がいることも事実である。 ☆その他の地域；北ロンボク島の Gudang Garam 村、ガンガ地区のセロス村の 状況も報告。 ③水に関する状況； 飲料水や灌漑用水など多大な影響を受け、水源や水道施設が破壊又は汚染された。 赤十字は、半年で2,300m ³ 以上の安全な水を供給、43km以上の水道管路を修復したが、 多くの方は給水車からの給水に依存している。 ④食糧不足；水源の枯渇などの影響による農家の被害も深刻。 ☆2018年、北部ロンボクにおいて1月22日地震があり、今回の地震の第1波である 7月29日の地震では510人が死亡、7,100人が負傷、43万人が避難した。					
備考；					